

## ◆ 総会直前情報

- 全国専門学校日本語教育協会（全専日協）は、いよいよ6月30日（金）に再出発に向けての総会を開きます。準備委員会のメンバーの皆さんにはいろいろ話し合いをして頂きました。そこで出てきた意見を取り入れたうえで、総会の前にしめくくりの準備委員会を開き、総会に提出する「会則案」や「執行体制案」をまとめて頂きます。（・準備委員会13：15～、・総会14：30～）  
よろしく願いいたします。
- 総会に引き続き16：00から行われる2つの「企画」についても準備が進んでいます。この2つは全専日協が目的として掲げる「情報の共有化」と「教育力の向上」に沿った勉強会です。改めてご案内します。

### I 「行政連携サイゼンセン」（\*行政や産業界から最新の情報を共有するものです）

#### ① 「日本語教員養成研修の届出について」

文化庁文化語部国語課 小松圭二 日本語教育専門官

#### ② 「在留資格認定証明書交付申請における提出資料の見直しについて」

法務省入国管理局入国在留課 杉本律子 法務専門官

### II 「日本語教育実践報告会」（\*留学生に向き合う教師の力を高める取り組みです）

～こんなカンジで漢字教育～

横浜デザイン学院 佐久間みのり（日本語学科教務主任）

文化外国語専門学校 白岩麻奈（日本語科主任）

- 2つの企画には、会員の皆さんからあらかじめ募集した質問も寄せられています。また、ひとつの学校から10人、13人の教職員が参加されることもあります。広い会場を用意しましたので、お誘いあわせの上お越してください。

当日の飛び込みも大歓迎です！

- 18：15から予定している「親睦会」にもどうぞご参加ください。  
冷たい飲み物と夜景がお待ちしています。



## ◆ 会員増加の兆しあり

- 4月に改めて「全専日協」として活動を始めて3ヶ月になります。3月までの専門学校の会員数は43校でしたが、有難いことに45校を越える会員数でスタートを切ることができる見通しとなりました。これは新たな出発をお聞きになった非会員校から加入の申し込みがあったためです。

実は、学校法人立等で日本語教育を行っている専門学校は、我々の会員以外に、およそ80校あります。その各校に総会へお誘いする文書を送りました。今回は時間が充分ではありませんでしたが、それでも神奈川や広島から新規加入の申し込みが届いています。「地方にいと情報が届かない」という声もきかれます。今後は丹念に連絡を取っていきましょう。

- 会員は「正会員」だけではありません。総会で提案される「会則」では、本会の目的を理解し事業を共に推進できる学校法人立の日本語教育機関（大学別科、各種学校）を「連携会員」として迎え、日本語以外の教育機関や教育事業関連会社なども「特別会員」として加わって頂くよう、提案される見込みです。
- 協力して目指すのは、繰り返しますが「情報の共有化」と「教育力の向上」です。透明性の高い組織としてコンプライアンスを守り、お互いに困ったことがあった時に助け合えるような、留学生30万人時代の仲間づくりをしていきましょう。
- 間もなく開かれる「総会」で、どのような建設的な話し合いが行われるのか、次号では、6月30日の模様を速報します。

2017年6月 27日

全国専門学校日本語教育協会  
ニュースレター担当